

1時間め 夢の設計図をつくろう 学習指導案

小4~小6対象 全2コマ

本時のねらい

- ・将来やりたい仕事や夢を実現するために必要な能力や条件について自ら調べ、必要な情報を得る。
- ・夢をかなえるまでの道筋とそこにたどりつくまでにやるべきことについて考え、自身の夢の設計図を作る。
- ・仕事以外で大人になったら実現したいことを考え、どのような人生を送っていきたいか、将来の人生設計について広い視点を持つ。

本時の活動のポイント

必ず本時の前に児童の将来の夢（仕事の目標）を考える授業をし、児童のなりたい職業が決まっている状態で本授業を行う。資料やインターネットなどのツールを効率的に活用し、ライフプランを作成することで、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

使用する教材

Web「ステップ1 | 夢の設計図研究所」 https://www.oc.jafp.or.jp/personal_finance/lifeplanpark/step_1.html

Web「学研キッズネット 未来の仕事を探せ!」 <https://kids.gakken.co.jp/shinro/shigoto/>

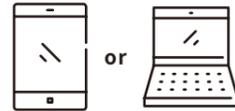
動画「夢の設計図ってなんだろう? カナエ編 (前半)」(約6分)



小4~小6向けワークシート・ヒントシート (A4サイズ/クラス人数分印刷)



児童用端末 (1人1台)



教科との関連

特別活動・学級活動	4～6年「(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現」「金融教育」
道徳	5～6年「A 希望と勇気, 努力と強い意志」
総合的な学習の時間	4年「二分の一成人式の準備」

評価基準

特別活動・学級活動 【キャリア教育からみる 評価基準】	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来に必要な情報を探すことができているか。(情報活用能力_情報収集・探索能力) ・将来のことを考える大切さが理解できているか。(将来設計能力_計画実行能力) ・憧れとする職業を持ち、今しなければならぬことを考えることができているか。(将来設計能力_計画実行能力) ・現実的な学習等の計画を立てることができているか。(将来設計能力_計画実行能力)
総合的な学習の時間	実生活の中から将来に向けて自身の課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができているか。

学習の展開 (45分)

段階	学習内容	指導の留意点	使用教材
導入 10分	<p>本時に学ぶことを押さえる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○動画カナエ編 (前半) を視聴し、夢の実現のためには設計図を書くことが重要であることを知る。 ○夢の設計図 (ライフプラン) の作り方の概要をつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童は将来の夢 (仕事の目標) が決まっていることを前提とする。(授業までに将来の夢についてそれぞれ考えておくように事前に声かけをしておく。) 	<p>【電子黒板】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ 動画「夢の設計図ってなんだろう? カナエ編 (前半)」
展開① ワーク 25分	<p>夢をかなえるために必要な能力や条件を調べる</p> <p>(ア) 就きたい職業, やりたい仕事をするために必要な条件 (資格, 学校での勉強など) や能力や資質についてインターネットで調べ, ワークシート [図ア] に記入する。また, 必要なお金についても [図ア] に記入する。(15分)</p> <p>夢をかなえるまでの道のりを考える</p> <p>(イ) ヒントシート②を参考に, ワークシート [図イ] に将来やりたい仕事に就くまでの道のりを記入する。(10分)</p>	<p>(ア) いくつか職業の例をあげ, 夢の職業に就くためには決められた学校の卒業や資格の取得, 能力や資質, お金などが必要であることを伝える。自分の夢の職業に就くために必要な資格, 能力や資質などの条件については, タブレットを使って調べさせる。</p> <p>※「学研キッズネット 未来の仕事を探せ!」サイトのURLを事前に児童のタブレットに送っておくよ。</p> <p>(イ) まず, 最初の行に今できること, 最後の行に最終目標を書かせる。次に必要な条件に関することを年齢に応じた欄に書かせる。(例: 高校入学, 大学 / 専門学校入学, 資格取得 など) 必要な条件の間に, できる努力がないか考えさせる。(例: 必要な能力 / 資質を身につけるためにそれぞれの年齢でできること, 必要な条件を達成するために勉強すること など)</p> <p>※作業時, 電子黒板にPDF「夢の設計図記入見本」を表示させるとよい。</p>	<p>【児童用シート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✍ ワークシート「夢の設計図」 ✍ ヒントシート「夢の設計図のヒント」 <p>【児童用端末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ Web「学研キッズネット 未来の仕事を探せ!」 <p>【電子黒板】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ PDF「夢の設計図記入見本」
展開② ワーク 10分	<p>仕事以外で実現したい夢を考える</p> <p>(ウ) ヒントシート③を参考に, 仕事以外で実現したい夢をワークシート [図ウ] に記入する。</p>	<p>(ウ) 仕事は人生の大きな目標だが, 大人になってできることは仕事だけではないことを伝える。どんな場所に住んで, 誰と, どんな暮らしをしたいか, プライベートで叶えたい人生の夢について具体例をいくつか提示し, 考えさせる。(例: 外国へ行く, ペットと暮らす, 結婚する, 子どもを育てる, 自分の家を建てる など)</p> <p>※時間にゆとりがある場合, 数名指名して発表させる。</p>	<p>【児童用シート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✍ ワークシート「夢の設計図」 ✍ ヒントシート「夢の設計図のヒント」

ゆめ せっけい ず 夢の設計図

記入見本

やりたい仕事や実現したい夢

その仕事や夢を選んだ理由

かん護師

こまっている人を助けたい

その仕事や夢を実現するために必要な条件(資格など)や力、お金はなんだろう

かん護師の資格・体力・コミュニケーション力
学費・じゅく代

年れい		必要な能力を身につけるためにやること
12才	小学校	いろいろな人と仲良くなる
13才	中学校	中学校入学、バスケット部に入って体力をつける
15才	中学校	じゅくに通り始める、受験勉強
16才	高校	高校入学、体や健康の勉強をがんばる
18才	高校	受験勉強
19才	大学	かん護の大学に入学
22才		かん護師試験の勉強をがんばる
23才		かん護師試験に合格!
23才	仕事	かん護師になる!
28才		かん護師のリーダーになって活やくする!

仕事以外であなたが大人になったらやってみたいこと、実現したいこと

- 大きな庭のある家に住む
- 犬を飼う
- 結こんして子どもは2人
- 30か国海外旅行

ゆめ せっけい ず 夢の設計図のヒント

ヒント① その仕事や夢を実現するために必要なもの

条件

- 大学など、決められた学校を卒業
- 資格や試験に合格 など

能力

- おもしろいアイデアを考える力
- 人と協力する力 など

お金

- 学費
- じゅく代
- 習い事代 など

調べ方

どんな学校へ行って何を勉強し、どんな資格をとる必要があるのか、夢をかなえるまでの道のりを調べよう。

調べ方

インターネットでなりたい職業の「仕事の特ちょう」や「向いている人」について調べて、参考にしよう。

ヒント② 夢の設計図の書き方例

年れい		必要な能力を身につけるためにやること
12才	小学校	色々な人と仲良くなる①
13才	中学校	中学校入学、バスケット部に入って体力をつける②
15才	中学校	じゅくに通り始める、受験勉強③
16才	高校	高校入学④体や健康の勉強をがんばる⑤
18才	高校	受験勉強⑥
19才	大学	かん護の大学に入学②
22才		かん護師試験の勉強をがんばる③
23才		かん護師試験に合格!⑦
23才	仕事	かん護師になる!⑧
28才		かん護師のリーダーになって活やくする!①

- 最初に「今できること」、最後に「最終目標」とそのときの年れいを書こう
- 必要な条件に関することを、当てはまる年れいのところに書こう
※年れいが書いていないところは書き足そう
※「大学」「専門学校」「仕事」などの区分を書こう
- 必要な条件の間に、できる努力を書こう

ヒント③ 大人になってできることは



外国へ行く



ペットを飼う



結こんする



家を建てる

仕事以外にもいろいろなことができるようになるよ



*こちらは、小学生『夢をかなえる』作文コンクールの「ライフプランシート」としても使えます。

2 時間め お金の勉強をしよう 学習指導案

小4~小6対象 全2コマ

本時のねらい

- ・家庭に入ってくるお金が有限であることを理解し、お金を大切にすることができる。
- ・お金を使うとき、必要なものとなくて困らないもので区別することができる。
- ・自分なりの価値尺度をもち、優先順位をつけて買うものを決めることができる。
- ・税金や社会保障など、世の中のお金の仕組みについて理解できる。

本時の活動のポイント

なるべく自分事として考えられるよう児童の生活を思い出しながらワークするようにする。
無駄遣いはよくないが、全くお金を使わないことがよいのではなく、将来のためなど自分にとって価値のある使い方を考えることが大切だと伝える。

使用する教材

Web 「ステップ2 | お金のクイズ館」 https://www-oc.jafp.or.jp/personal_finance/lifeplanpark/step_2.html

Web 「ステップ3 | お金のムービーシアター」 https://www-oc.jafp.or.jp/personal_finance/lifeplanpark/step_3.html

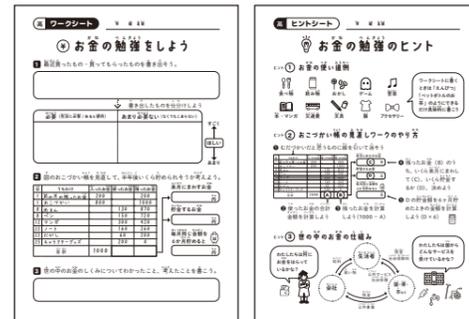
Web 「お金のクイズ | むずかしいモード」 (3問)



動画 「生きていくために大切なお金の話 カナエ編 (後半)」 (約9分)



小4~小6向けワークシート・ヒントシート (A4 サイズ/クラス人数分印刷)



教科との関連

特別活動・学級活動	4~6年 「(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現」 「金融教育」
家庭科	5~6年 「C-(1) 物や金銭の使い方と買物」
社会科	6年 「(1) ア 政治のはたらき」

評価基準

特別活動・学級活動 【金融教育からみる評価基準】	<ul style="list-style-type: none"> ・お金を使うとき、必要なもの（ニーズ）と欲しいもの（ウォンツ）を区別することができるか。 ・お金の使い方について自分なりの考え方をもち、意思決定する態度が身に付いているか。 ・お金の使い方について見直ししながら、自ら節度を守り節制を心掛けることができるか。 ・必要性を考えて、計画を立て、それに沿ったお金の使い方ができるか。
家庭科	物や金銭の大切さに気付き、計画的な使い方を考えることができるか。
社会科	国や地方公共団体の政治の取組を捉え、社会保障など国民生活にどんな関りがあるか理解し、表現することができるか。

学習の展開 (45分)

段階	学習内容	指導の留意点	使用教材
導入① 5分	クラスでお金クイズに挑戦 ○人生の様々な場面で必要になってくるお金についてのクイズ。	<ul style="list-style-type: none"> ・①~③の選択肢のうちどれが正解だと思うかそれぞれ挙手を促し、児童の参加意識を高める（アイスブレイク）。 ※展開のワークを重点的にやりたい場合は省略可 	【電子黒板】 □ Web 「お金のクイズ むずかしいモード」
導入② 10分	お金との付き合い方を学ぶ ○動画カナエ編（後半）を視聴し、お金を賢く使う・貯める・ふやすことの重要性や世の中のお金の仕組みを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・「今日学習することについての動画を見ます」「後で動画の内容に関係する質問をするので、しっかり見ておいてくださいね」と声掛けを行うとよい。 	【電子黒板】 □ 動画「生きていくために大切なお金の話 カナエ編（後半）」
展開 ワーク 27分	くらしとお金について考える (ア) 最近買ったもの・買ってもらったものを、ワークシート [図ア] に記入する。(5分) (イ) アで書き出したものを仕分けして、ワークシート [図イ] に記入する。(7分) (ウ) 図のお小遣い帳を見直し、無駄な買い物やカットした結果をワークシート [図ウ] に記入する。(10分) (エ) アニメをみて「世の中のお金の仕組み」についてわかったことをワークシート [図エ] に記入する。(5分)	(ア) ヒントシート①のイラストを参考に「自分の場合」を考えて記入させる。「飲み物」ではなく「コーラ」など具体的に書くように指示する。 お小遣いをもらっていない児童は、親に買ってもらったものを記入するよう指示。 (イ) ほしいものに優先順位を付けさせ、特にほしいものは上に、あまりほしくないものは下の方に書くよう指示する。 (ウ) ヒントシート②のやり方に従い、自分にとっての不用品に罫線を引いた後、各計算をするよう指示。 (エ) 「ヒントシート③を参考にするとよい」と伝える。 ※時間にゆとりがある場合、数名指名して発表させる。 ※作業時、電子黒板にPDF「お金の勉強をしよう記入見本」を表示させるとよい。	【児童用シート】 ✎ ワークシート「お金の勉強をしよう」 ✎ ヒントシート「お金の勉強のヒント」 【電子黒板】 □ PDF「お金の勉強をしよう記入見本」
まとめ 3分	ふりかえり ○本単元で学習した内容をふりかえる。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時、本時の学習内容を総括した後、この授業でわかったことを問いかけ、児童数名に発表させる。 	✎ ワークシート「夢の設計図」「お金の勉強をしよう」

① お金の勉強をしよう 記入見本

1 最近買ったもの・買ってもらったものを書き出そう。

グミ ガチャガチャ りんごジュース 消しゴム
クレーンゲーム アイス えんぴつ ヘアゴム

書き出したものを仕分けしよう

必要 (生活に必要 / あると便利)	あまり必要ない (なくてもこまらない)
ヘアゴム 消しゴム えんぴつ	グミ アイス りんごジュース ガチャガチャ クレーンゲーム

↑ すごい
↓ ほしい
↑ ほしい
↓ あまり

2 図のおこづかい帳を見直して、半年後いくら貯められそうか考えよう。

日	うちわけ	入ったお金	使ったお金	残ったお金
1	前の月の残ったお金	200		200
1	おこづかい	800		1000
8	肉まん		130	870
8	ペン		150	720
12	マンガ		300	420
22	ノート		160	260
22	だかやし		60	200
25	キャラクターグッズ		200	0
合計		1000	700	300

来月にまわすお金
200 円

貯金するお金
100 円

毎月同じ金額を6か月貯めると
600 円

3 世の中のお金のしくみについてわかったこと、考えたことを書こう。

いつも遊んでいる公園のために税金が使われている。

① お金の勉強のヒント

ヒント ① お金の使い道例



ワークシートに書くときは「えんぴつ」「ペットボトルのお茶」のようにできるだけ具体的に書こう

ヒント ② おこづかい帳の見直しワークのやり方

① むだづかいだと思ふものに線を引いて消そう

日	うちわけ	入ったお金	使ったお金	残ったお金
1	前の月の残ったお金	200		200
1	おこづかい	800		1000
8	肉まん		130	870
8	ペン		150	720
12	マンガ		300	420
22	ノート		160	260
22	だかやし		60	200
25	キャラクターグッズ		200	0
合計		1000	A	B

来月にまわすお金
C 円

貯金するお金
D 円

毎月同じ金額を6か月貯めると
E 円

④ 残ったお金 (B) のうち、いくら来月にまわして (C)、いくら貯金するか (D)、決めよう

⑤ D の貯金額を6か月貯めたときの金額を計算しよう (D × 6)

② 使ったお金の合計金額を計算しよう

③ 残ったお金を計算しよう (1000 - A)

ヒント ③ 世の中のお金の仕組み

